

## 在校生への激励メッセージ

私は、新川高校の6回生で、現在は大学で教育と研究に従事しています。高校1、2年生の頃は、勉強が嫌で怠けてばかりいましたので、まさか自分が将来このような職に就くとは思っていませんでした。今の自分があるのは、私を見捨てず、「勉強しろ」と言い続けて下さった新川高校の先生方のおかげです。感謝しています。

自分の経験を踏まえて（棚に上げて）、在校生の皆さんに希望することは、しっかりと勉強と部活動に励み、充実した高校生活を過ごして欲しいということです。目標をもち、それに向かって、ひたむきに努力することが大切です。頑張ってもなかなか上手くいかないことが続くと、努力することを止めたくなることもあると思います。しかし、努力しない怠惰な生活は、楽ではあっても退屈なものです。目標に向かって悪戦苦闘する日々は、その時は苦しくても、後で振り返れば、充実していた、幸せだったと実感できるはずです。困難から逃げず、必死に努力することで、充実した高校生活を楽しんで欲しいと思います。

私も、もっと上を目指して、もっと社会に貢献できるよう、精進し続けていきたいと思っています。そうすることが、お世話になった新川高校への恩返しになると信じています。在校生の皆さんも、それぞれの目標に向かって頑張ってください。応援しています。

三宅 正男

1994年3月 愛知県立新川高等学校 卒業

1998年3月 京都大学工学部物理工学科 卒業

2000年3月 京都大学大学院工学研究科 修士課程 修了

2003年3月 同 博士後期課程 修了

2003年4月～2007年3月 東京大学生産技術研究所 助手

2007年4月～2010年3月 イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 客員研究員

2010年4月～2013年2月 京都大学大学院エネルギー科学研究科 助教

2013年3月 同 准教授. 現在に至る.

